

T.M.P.H. ニュース

2016 Winter Vol.13

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

CONTENTS

- 新年のあいさつ[院長・看護部]
- 医師コラム「やっかいな頻尿の問題、どうしたら解決できる？」
- 救急救命士の紹介／呼吸サポートチームの紹介
- クリスマスコンサートを開催しました。
- 院内での携帯電話・スマートフォンの使用について
- 区民健康講座のご案内
- ホームページの紹介



あけましておめでとうございます。

新しい年が、皆様にとって健やかで希望に満ちた1年になりますことを、心からお祈り申し上げます。

さて、私共東京警察病院は移転後、今年の4月から9年目の年を迎えようとしております。私共の願いは地域に密着した急性期病院としての役割を全うするとともに、緊急時の災害拠点病院としての体制を構築し、地域から“頼られる病院”としてのプレゼンスを確かなものにすることにあります。

災害拠点病院としての体制の構築に関しましては、屋上ヘリポートの設置、臨時ベッド増設体制の確立など設備面に関する整備を行うとともに、院内訓練を繰り返し施行することで日々体制強化に取り組んできております。一方、“地域に密着した急性期病院”としての位置づけの確立につきましては、“私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、日夜努力いたします”という理念のもと努力しておりますが、まだまだ十分とはいえず、いまだにお叱りを受けることがあります。

私共は患者さまおよびその家族の方々、および連携医の先生方からのご意見を貴重なものと真摯に受け止め、常に“見直す”という姿勢を忘れずに改善に努めております。

最後に本年は診療報酬改定の年であり、急性期病院にとってはより厳しい状況になることが予想されます。

しかし、私共は先に掲げた理念と次の5つの基本方針

- 「私たちは、患者さまの権利と意思を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します」
- 「私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します」
- 「私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します」
- 「私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します」
- 「私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します」

を実践することで、地域の皆様とともに歩む“頼られる病院”となるよう、全職員一丸となって尚一層の努力を続けていく所存ですので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



院長 白井 徹郎

あけましておめでとうございます。

毎年のことですが12月はその年に起こった病院での様々な出来事を思い起こし、事の処し方や患者様のご意見に対する看護職員への指導・教育に不備はなかったか、もっと効果的な関わりができたのではないかと反省し、また、真新しいカレンダーをめくる1月は同じ轍を踏まないよう、新しい出会いに思いを馳せながら身の引きまいる思いがいたします。

看護部は非常勤職員も含めると480人を超える大所帯の部署です。また、病院の中で患者様やご家族の方々に直接お話し、ケアを提供する時間が一番長い職種でもあります。常日頃から接遇については厳しく指導を重ねておりますが、思いも寄らないようなお叱りの言葉を頂戴することがあります。

厚生白書で「医療サービス」という言葉が使われて20年が経過しました。サービス業の特徴のひとつに生産と消費が同時に行われ、形やモノとして残らないということがあり

ます。言葉かけや接する態度はサービス業において非常に重要なファクターとなります。

20年間で社会構造やコミュニケーションツールも大きな変化を遂げています。看護部理念である「あなたとあなたの大切な人を安心して託すことができるあたたかい看護を提供します」の言葉を、いま一度問いかける一年にしてゆきたいと心新たにしております。

本年も暖かいお叱りとご指導を承りますようお願い申し上げます。

看護部



東京警察病院
Tokyo Metropolitan
Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

Thoughtful(ソートフル)………患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical(テクニカル)………医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy(トラストウォーシー)………皆様の信頼に応えています

医師コラム

やっかいな頻尿の問題、 どうしたら解決できる？



最近、こんな症状はありませんか？

- トイレに行く回数が多い
- 急にトイレに行きたくなくて、我慢が難しいことがある
- トイレまで我慢できずに漏らしてしまうことがある

トイレに行ったばかりなのに急に尿意をもよおしゴルフに集中できない。夜中に何度もトイレに起きて寝不足状態。このような頻尿の悩みを抱える中高年は少なくないはず。

好きなゴルフも敬遠しがちになり、出かけるのがつい億劫になってしまう。それでは人生楽しくないですね。

たとえば…

ケース1

50代の主婦Aさんは、月1回のゴルフが唯一の楽しみでした。でも、最近ちょっとトイレが近くなってきたのが気になります。先日、ラウンド中に思いがけなく失禁をしてしまい、がっくりと落ち込んでしまいました。思い切って医師に相談したところ「過活動膀胱」と診断され、抗コリン剤という薬剤を処方されました。

ケース2

定年を迎え、自由な時間を満喫できるBさんは、これからは存分にゴルフができると張り切っていました。ところが、コースをまわるたびに急にトイレに行きたくなり、モジモジしてアプローチやパットに集中できません。そのせいでスコアは惨憺たるものです。Bさんを診た医師は「前立腺肥大症」の診断を下しα遮断薬と抗コリン剤の併用療法が開始されました。

ケース3

Cさんは、もうすぐ50歳に手がとどく管理職。ゴルフの誘いも多くなってきました。でも、このところ夜中に何度もトイレに行きたくなくて目が覚めるようになり、精力の減退も意識されるようになっていきます。寝不足のためゴルフのスコアはまったく奮いません。泌尿器科を受診し、PDE5阻害剤という薬剤を処方してもらいました。



泌尿器科部長
松島 常
 [専門領域]
 前立腺疾患、内視鏡手術、尿失禁、膀胱癌、尿路結石症
 [主な資格]
 日本泌尿器科学会 指導医
 日本泌尿器科学会 専門医
 東京大学大学院非常勤講師



頻尿とは？

頻尿とは文字通り頻繁にトイレに行く状態のことです。通常は昼間が7回以下、夜間は1回も行かないのが健康的なおしこの回数です。ところがある疾患にかかると、トイレに行く回数がぐんと増えてしまいます。

頻尿が意識されたら早めの受診を

三人とも薬剤の効果で今ではすっかり頻尿の悩みは消え去りました。Aさんはこれまでも増して友人たちとゴルフに行く回数が増え、Bさんは気になるモジモジ感が消えたことでパットは絶好調。Aクラス入りを果たしました。Cさんもスコアが元に戻り、夜間にトイレに行くこともなくなって精力もつい

てきたのが実感されます。このように頻尿は薬物療法で多くの場合が改善されます。年のせいだとあきらめて我慢してしまうことは避けるべきです。過活動膀胱や前立腺肥大症だけではなく、癌などのおそろしい疾患の可能性もないわけではありません。

前立腺肥大症とは

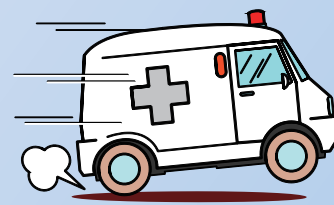
前立腺は、骨盤底にある尿道を取り囲む男性特有の器官です。前立腺肥大症は、前立腺移行域の細胞が増殖して過形成結節を形成し、排尿障害(排尿困難、頻尿、尿意切迫感など)をもたらす病気です。

■生活上の注意点

- 便通を整えましょう
- 過度の飲酒は控えましょう
- 辛い食べ物は控えましょう
- 適度な運動をしましょう



救急救命士の紹介



救急救命士は、現在4名が在籍しています。救急センター(救急外来)に所属し、救急科医師の指導・指示のもと、看護師とも協力しながら主に救急センターで活動しています。

本来救急救命士は、救急車で活動するため、主な就職先は消防機関ですが、救急の専門職である救急救命士が病院救急救命士として病院で採用される事も多くなっており、その職域拡大には大きな可能性を秘めています。当院では救急体制の強化を目的とし、平成24年6月より1名が採用され、その有用性から少しずつ増員がなされました。

当院で救急救命士を採用するようになったことで、救急外来における診療は、医師・看護師・救急救命士で分業化を図れるようになり、医師は診察に、看護師は看護業務にと、それぞれの業務に専念することが可能になりました。

主な業務として、救急隊からのホットラインのトリアージや



クリスマスコンサートを開催しました

12月18日、当院1階ロビーにて、「楽団カーニバル2001ウィンドオーケストラ」の皆さんによるクリスマスコンサートを開催しました。

7回目を迎える今年も、たくさんの入院患者様やそのご家族、地域の皆様が集まり、一足早いクリスマスを楽しみました。



院内での携帯電話・スマートフォンの 使用ルールが変更になりました。 マナーを守ってご使用ください。

- 院内ではマナーモードに切り替えて、着信音が鳴らないようにしてください。
- 通話する場合は必ず指定通話エリアをご利用いただき、大声での通話をご遠慮ください。
- 使用禁止エリアでは電源をお切りください。
- 患者様のプライバシーに配慮する上で、院内での写真撮影や録音はご遠慮ください。
- 使用できる時間帯は朝7時から午後9時までです。



●使用できる場所
 ●各病棟の特別室・個室・病棟ラウンジ・1階ホール・コンビニのイートインスペース・9階食堂



●携帯電話等の使用を控えていただく場所(メールは可)
 ●すべての診察室・各外来の待合場所・各病棟の個室及び特別室以外の病室・各病棟の両端にある談話コーナー



●携帯電話等使用禁止場所
 ●処置室・採血室・点滴室・X線撮影室・各種検査室・手術室・集中治療室(ICU)・救急病棟・救急センター・その他、職員が指示した場所

呼吸サポートチームの紹介



こんにちは、呼吸サポートチーム(RST:Respiration Support Team)です。

2015年12月より活動を開始したRSTは、呼吸器科医師、臨床工学技師、理学療法士、事務職員、集中ケア認定看護師、慢性呼吸器疾患認定看護師のそれぞれの専門分野の職種によって構成されています。

人工呼吸器は、呼吸状態が悪化して生命の危機に瀕する病態から正常な状況に回復するための必要な医療機器です。

RST活動は、人工呼吸器装着中の安全管理と療養環境、早期に人工呼吸器が外れた生活を目指して多職種による連携を行っており、いずれは院内の勉強会などを開催し、更に病院全体のスキルアップを向上させるよう活動していく方針です。また、患者さまに向けた活動内容も検討中です。

安全な医療が提供できるよう院内各部署とともに活動し、多方面から見た療養環境の支援をしていくことで、安心した入院生活が送れますように努めていきたいと考えています。そして、患者様が早期に社会復帰ができるように願っています。

区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と健康の知識について
当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

第68回

2月20日(土)

テーマ **人工股関節** ～痛みなく歩く～

整形外科部長／人工関節センター長 古澤 達也



※テーマ未定につきましては、
決定次第当院のホームページ 院内掲示等でご案内いたします。

講演後には、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

**受講料
無料**

◆時 間： 10:30～11:30(開場10:15)

◆場 所： 東京警察病院 9階 大会議室

◆参加申込： 経営企画課へお申し込み下さい。

① 電話：TEL 03-5343-5611(内線14551)

受付時間：8:30～17:00(日曜・祝日除く)

② FAX：ホームページよりFAX用紙を印刷頂き送信して下さい。

FAX 03-5343-5612

※電話番号・FAX番号をお確かめのうえ、お間違のないようお願いいたします

※各回とも定員になり次第、締め切りとさせていただきます

※当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

第69回

3月12日(土)

「テーマ未定」

耳鼻咽喉科医長 横西 久幸



第70回

4月2日(土)

「テーマ未定」

血液内科副部長 林 達之



参加者の声

●病気の怖さを再認識できた。●詳しく専門的かつ具体的で分かりやすい講座だった。●技術の進歩が分り希望が持てました。●巷のよくわからない情報に振り回されなくなった。●手術のビデオや資料がとてもよく勉強になった。

過去に開催されたテーマ

●腎臓の病気のお話 ●子宮頸がん—その診断と予防と治療— ●血管の病気について(下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症の正しい基礎知識) ●突発性難聴について ●前立腺癌の治療選択

東京警察病院
〒164-8541 東京都中野区中野4丁目22-1 電話番号：03-5343-5611 (代)

ホーム 外来で受診 診療科のご案内 入院とお見舞い 医療関係者 地域の皆さま 採用情報 病院紹介 交通アクセス

大切な人を守る医療がここにある
どんなに苦しい時でもそばにいます
Tokyo Metropolitan Police Hospital

患者・家族の皆さまへ
外来・入院・診療科のご案内
家族相談・医療相談はこちら

医療関係者の皆さまへ
当院へのご紹介について

採用情報
求人情報はこちら

ホームページの紹介

<http://www.keisatsubyoin.or.jp/>

当院のホームページでは、健康講座の開催予定や広報誌
バックナンバーなど、さまざまな情報を提供しています。



中野区民病院として患者様の健康に役立つ情報！

T.M.P.H.ニュース
Tokyo Metropolitan Police Hospital News

2015 Winter 2015 Spring 2015 Summer 2015 Autumn

平成27年4月1日
増え続けるがん患者さんの治療

2015 Summer 2015 Autumn

中野区民病院として患者様の健康に役立つ情報！

診療のご案内

受付
時間

月曜日～土曜日 午前 8:00～11:30

午後 12:30～16:00

■ 自動再診受付機 稼働時間……7:30～16:00

■ 自動入金機 稼働時間……8:30～17:00

※防災センター自動入金機：24時間稼働

■ 休診日：日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)



レストラン「憩」

9F

営業時間：7:30～18:00



ナチュラル・ローソン

1F ATMあり

営業時間：6:00～21:00

案内地図



P 屋外駐車場 119台 一般料金：200円/30分 受診者料金：100円/30分

理念

私たちは、医療の質の向上と患者さまの
満足を目指し、日夜努力いたします

基本方針

- 私たちは、患者さまの権利と意志を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します
- 私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します
- 私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します
- 私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します
- 私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します

患者さまの権利と責務

● 基本的権利

良質で安全な医療を、
等しく受けることができます

● 情報を得る権利

十分な説明と情報提供を受けることができます

● 自己決定と選択自由の権利

自己の意志に基づき、治療を選択すること、
あるいは拒むことができます

● 情報保護の権利

個人の医療情報ならびにプライバシーは、保護されます

● 責任と義務

他の患者さまの診療、ならびに医療従事者の業務を
妨げるような行為は、慎んでいただきます